

私たちの道

—— MC WAY を感じる ——

なぜ MC で働くのか、誰と何に挑戦するのか ?!

1. 勇気と自信が出る言葉との出会い

- ・ みらいの知恵の鈴木啓史先生の遺稿には、コンサルタントの重要な心掛けとして以下の記述があります
— コンサルがクライアントに「眞の仲間」だと認知されるかどうか。「オレはみんなを守るために、ここに来たのだ」と言い切り、それをみんなに信じてもらえるかどうか
— 「ボクを信じろ。ボクが関与した会社で悪くなつたところは一つもない。全て良くなつたのだ」と腹に力を込め自信を持って言い切る
- ・ MC 入社間もない頃にこの一節と出会い、そんなコンサル像に憧れ、こうなろうと思ったものです
お客様と対峙する際に思い返すと、勇気と自信が漲る言葉

2. パーパスとのつながり

- ・ 気が付けば MC に入社して 7 年
振り返ると、お客様の成長に貢献して数多くの感謝の言葉をいただきました
しかし、倒産した会社、志半ばで旅立った社長、支援継続が困難となる会社もありました
自らの無力さをたくさん味わった
そんな経験を経て、この一節の意味や背景にある慎慮がようやく分かってきました
- ・ 端的に言うと パーパス
表面上はお客様に伝えるという文脈ですが、自らの存在意義を認知し強く問いかけている
仕事を通じて、「世の中にどのような価値を提供するのか」ということを自ら定義している

3. なぜ MC で働くのか、誰と何に挑戦するのか ?!

- ・ 私は、完璧とは程遠いことを自認したうえでなお、
「ボクを信じろ。ボクが関与した会社で悪くなつたところは一つもない。全て良くなつたのだ」
と言い切って真摯にお客さまと向き合いたい
それに足る人間となるために個人として成長していきたい
- ・ しかし、“個” の力には限界があることも事実
だから MC でパーパスを共有できる仲間と力を合わせて価値を生み出すことに意味がある
- ・ MC4.6 がスタートしました
志を共有する仲間たちと「みらいの未来」を創造しましょう
未来価値創造企業の支援を通じて地域インパクトを生み出しましょう
一人ではできないことだって、私たちなら必ずできる